

森の民話茶屋通信

Vol.15

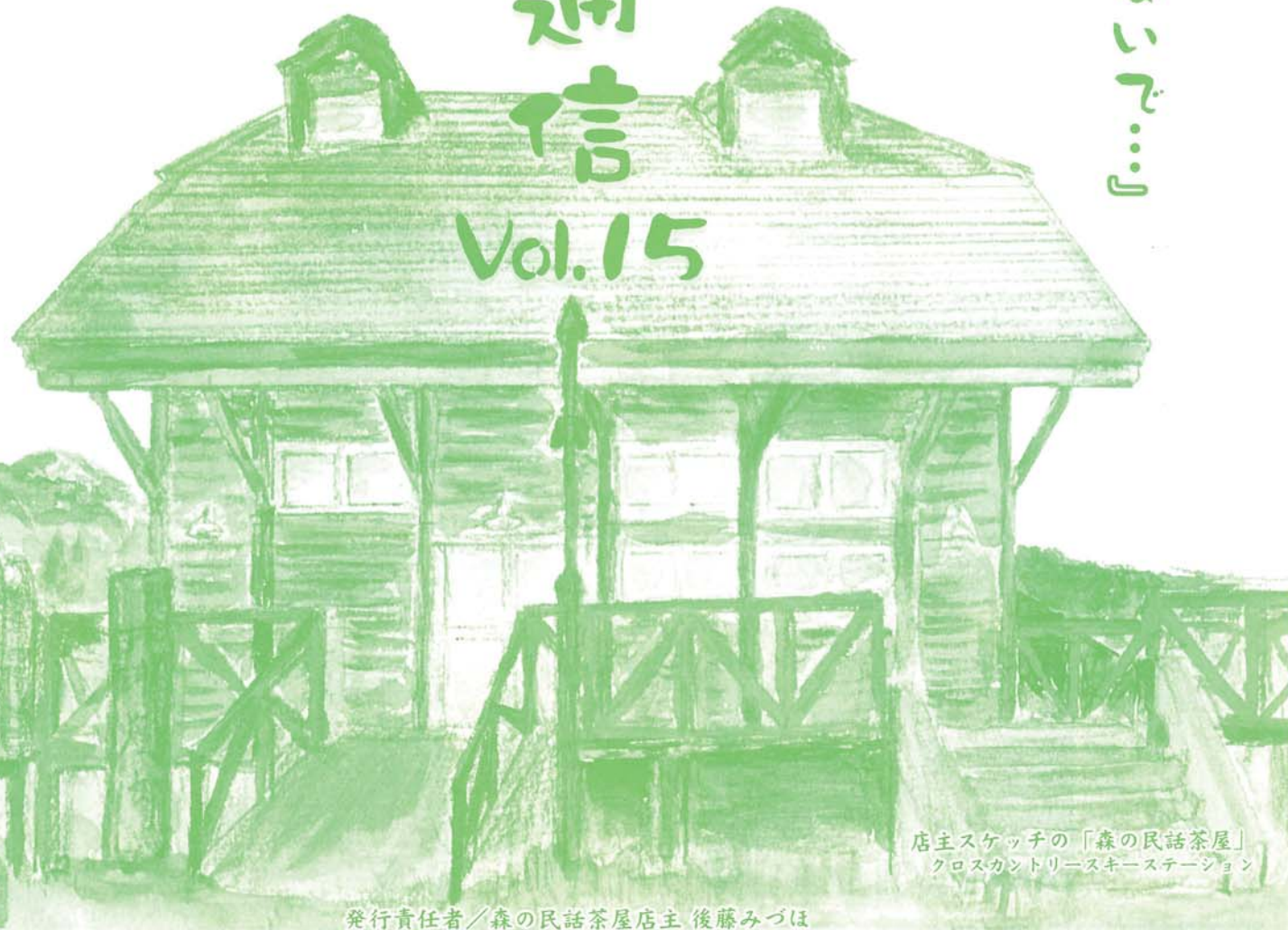
福島県地域づくりサポーター事業
『ふるさとの民話とふるさとの森をつないで...』



Vol.10の“店主が走る”に登場して
頂いたハ巻ミイノさんから、
素晴らしい文化刺繍の作品が。



世界に一つ自分の作った箸を手に
満足の笑顔。しめくりの事業
“つる細工教室”



店主スケッチの「森の民話茶屋」
グロスカントリーズキーステーション

店主が走る！村のオウ子 Vol.14 安達太良山の恵みの「つる細工」を作る
本多久夫さん(66才)・ミチ子さん(61才)
ご夫妻を訪ねて



お正月早々の午後、穏やかな日
差しの中を、自宅にお訪ねすると、
外孫合わせて5人目のお孫さん
が生まれたとのこととお姉ちゃん
になったばかりだという3歳
の美咲ちゃんを交えて楽しいお
話を伺いました。

Q 昨年は「森の民話茶屋」の「つ
る細工教室」で大変お世話に
なりました。お陰さまで大好

評でした。「つる細工」を始められたきっかけは？
久夫(以下久) 俺は中学校を出るとすぐに壁職人になった
のナイ。40年以上やったった。何でも工夫したり、他の
職人さんの仕事も良く見たりすんのが好きだったのナイ。
平成4年だったかナイ。新築した家に、健康に良い
炭を置くので籠(かご)が欲しい...と言われて庭にあって
た「くどふじ」で編んだのが初めてだったナイ。
そう言うてくれたのが、俺が中学を出てからずーっと
世話になり通しの、遠藤建設の奥さんだった。考えると
本当に人の縁はありがたいナイ。

Q そうですか。では、もう十年以上「つる」と係わっていら
っしゃるんですね。
久夫 美咲ちゃんと久夫さんに、そして私にまで温かくて美味
しいかぼちゃのスープを運んで下さって、ミチ子さんが炬
燵に来て話に加わって...



久 その後、胃潰瘍で入院して手術。退院
しても又すぐ入院、その繰り返しだ
った。
子どもたち4人もみんな職についた
ので、少し壁職人の方を控えて、「つ
る細工」を楽しむようになったのナイ。壁職人の仕事も
だんだん減ってるし...
Q 最初は、どんな所々？
ミチ子(以下ミ) 安達の「道の駅」でフリーマーケットと
か、郡山のビッグパレットでの催事とかがあると作品
を持っていくようになったのナイ。みんな喜んでく

村中の人に世話になっている...その分は...
Q そんな情報はどこから？
ミ ラジオだったナイ。
Q 情報をキャッチする力が凄いですね。
久 安達の「道の駅」で買ってくれた人がつないでくれて、
郡山市多田野にあるトマトハウスという障害者の施設
で講師を務め、そして次に身体に障害のある人たちの
桑野作業所で3日間指導したり...と。自然の素材を編
む...それが良いんだナイ。
ミ 障害がある無しなんて関係ないん
だよ。みんな本気で、車椅子の人
もこーやって...
久 ミチ子さんが大きな身振りで真剣に
生き生きと作品を作ろうとする方々の
様子を語ってくれて、それが何とも嬉しそうで温かいので
す。私はその表情を見ながら、「つる細工」に出会った幸せを
分けてあげているのだと感動していました。



Q もともと二人の出会い？
久 さっき言ったように、俺の仕事ぶり、研究したり工夫し
たり、真心こめて仕事やるのを見てくれた人が世話
してくれた。
ミ こだけの話...「金残してるゾ」と言われて...
Q ああ、その通り？
久 とんでもねえ。あん時結婚式の後は3万円しかなかった。
た。それで仕事の仕入れをしなければならねえ。
ミ 兎に角、仕事はしたナイ。ほんでもつらい事は忘れっか
ら。
久 俺家(おらい)は二人で一人なんだ...
久 俺家(おらい)は二人で一人なんだ(笑)。俺はもともと
内気だし、こっちは外向的だからナイ。
Q お互いを認め合ってた良い夫婦ですね。
久 手術してから変わったのナイ。俺、感謝する心が直ぐ言
業に出るようになった。

Q これからの希望は？
久 何だったって大玉村の特産品に「つる細工」が
なることだナイ。
ミ みんなが良くなければ良くなるんだから、俺た
ちはみんな「つる細工」を教えっからナイ？
(と久夫さんを見る)
久 そうだ。プロと違うのは何かと考えると、手作
りの良さだし、自然を生かすからだ。4号線の
ふれあい広場から見た安達太良山の美しさ、
あの山の恵みを頂いているんだからナイ。俺
たちはふれあい広場が出来てからだ。村の人
にも分かって貰えるようになった。ありがた
いゾイ。
人間は努力と感謝だ。貰った以上のモノは
返せねえんだもの。



何だか民話の中に出てくる優しい爺さまと婆さ
まのようで、私は心が温かくなりました。「つる細
工」を惜しげもなくみんなに広めようとしていら
っしゃるのです。今年もふれあい広場とビッグパ
レットへ出す作品づくりから始まるそうですよ。

「森の民話茶屋」へ、今年のメッセージ

■三年間大変ご苦勞様でした。森の民話茶屋は村民へはもとより、県内外の多くの人々に愛され大成功ですばらしい成果を収める事が出来ました。それも一重に店主の前向きな情熱の表れの賜物と感じています。今後も何らかの形で継続できたらいいですねー。

安達太良ソバ生産組合 鈴木宇一

■回を重ねるごとに発展している様子、感銘を受けています。何度か気まぐれにお邪魔させて頂きました。ありがとうございます。自然の中で、自然体での活動、期待しています。

あだたら直売所グループ 斎藤真治

■地球規模の大きな視野に立って、足元から行動することがすすめられている時代です。

地球環境の破壊につながる動きがあるなかで、地域で、個人でなにが可能か考えて行きたいものです。

安達太良を知る会
三村達道

■日を重ねるごとにお客様が増え民話茶屋が県内外に浸透し、すばらしい事だと思います。今年も又行ってみたいと思うような茶屋になる様、益々のご繁栄をお祈りいたします。

田邊 テル

■開店以来、素晴らしい店主の発想にて、茶屋通信・新聞、又テレビ放映されまして大盛況には、スタッフ一員として驚き喜んでおります。安達太良の自然に囲まれた民話茶屋においでになる方々に、茶道の精神で野の花を飾り、真に茶を楽しむことの出来る様な雰囲気作りに、心を込めて一生懸命努力を捧げたいと念じております。

大内 ヒサ子

■民話茶屋に行くのを楽しみに日々を過ごさせて頂きました。元気で又出来ることを楽しみにしています。

鈴木 イミ子

■芽吹きから新緑に、そして紅葉と大自然の営みの中、緑のオアシス、癒しの茶屋へ沢山のお客様が足を運んで下さり、日常の雑事から解放されて、ほっとできる一時を共有できたことに感謝。

早くも銀世界。冬ごもりをしながら自分にできることがあれば、又今年も参加させて頂き、沢山の方々とのお会いができますことを楽しみにしています。

寒さに負けず、風邪をひかぬよう充分気を付けて過ごしましょう。

橋本 俊子

■新年度益々の御発展を。

馬場 秀子

■大自然に包まれた森の民話茶屋は素晴らしい所です。そんな中のお客様との出会いは、これ又楽しい事だと思います。健康に注意して今年も又皆さんと御一緒出来ればと思います。

鈴木 芳子

■昨年も大勢の皆さんとお逢い出来ましたね。これも民話茶屋あってと感謝しております。人と自然にふれあい、ぬくもりの中で過ごした日々を思い起こしております。今年も健康に留意し、多方面の方々と接して行きたいと存じます。

添田 栄子

■昨年も多くの方々が来館し、皆喜んで下さいました。数少ないお手伝いでしたが、暖かい交流があり、うれしく思いました。

今年も、大人も子供も多くの方々の来館をお待ちしております。昔ながらのぬくもりの味、又昔ばなしも沢山聞いて下さい。心に温かい思い出として残るでしょう。

川名 トク子

■民話茶屋でお腹いっぱいになって森へ出発！または、森で歩きつかれたら民話茶屋でおいしい一休みしてほしいです。

青木 智美

今年「森の民話茶屋」は又、新しい気持ちでみなさんと一緒に安らぎ癒される場になれるよう努力したいものです。時代はスローフードとスローライフが叫ばれるようになりました。そんな時代にふさわしい「森の民話茶屋」をこれからもどうぞよろしくお願い致します。

店主 後藤みづほ 敬白



「僕の中にはいつも違う僕がいる／呼んでも呼んでも出てこない／でもお話を聞いていたら呼んでもいないのにその僕が出てきた／不思議な不思議なお話／でもそれはとってとってでも大事なお話／がんばれ日本のお母ちゃん！」これはその中のひとつ、お母さんと兄弟で来てくれた十代の少年が残したメッセージです。そんな一つ一つの「心と言葉」に励まされてきました。

ミチ子さんの丁寧な指導を受けながら...



どうですか？
素敵でしょう！



みなさん
黙々と制作中！



私たちにも
出来ました！

あけびつる細工教室
～フナツプ～
H14.11.27